

今春「日の丸・君が代」不起立闘争で 職場の団結と未来を取りもどそう



すべての仲間みなさん。

2010年の卒業式・入学式がやってきました。全国に例のない10.23通達をはね返して、処分を辞さない不起立闘争が、不屈に継続・拡大しています。労働者の誇りをかけた闘いが、都教委の魂胆を打ち破り続けています。

職場に広がる不安と不満、怒りを解き放って、今こそ労働者の心意気を示そう。不起立闘争で職場に団結と誇りを取り戻し、青年の未来を開こう！

闘わなければ働けない、生きられない。今こそ闘うとき！

昨年10月八王子で27歳の仲間が連日の超勤で過労死に追い込まれました。さらに、もっとも過酷に「教育改革」をすすめる品川で昨年3人が過労死しています。いずれもまだ若く、そのうちの1人は新採だということです！これはもう都教委・区教委によって労働者が殺されているということです。全国の公立学校の病休者8578人、その6割以上の5400人が精神疾患です。東京はその全国平均を大きく上回っているのです(『都政新報』)。こんな「異常な」職場がどこにあるのか！

管理職や教委への「忠誠度」を計るための膨大な報告書類の提出強制、官制研修や成果主義の研究授業等々による多忙化。際限のない超勤！職員会議での挙手採決禁止、主幹教諭・主任教諭導入のピラミッド組織による管理・統制。なんでもかんでもパソコンによる指示と報告という、労働者と教育活動の非人間的な管理。業績評価で仲間同士の競争が煽られ、日常的なパワハラ。そして拡大する非正規雇用(東京だけで1万3千人超!)。賃下げ攻撃もどんどん進みました。こういう極限状態の中で、「病休」「過労死」「早期退職」「若年退職」「不祥事」が多発しているのです。

ここまで学校現場がめちゃくちゃにされてきたのも、「日の丸・君が代」強制的10.23通達からです。

組合幹部が言うように「嵐が過ぎ去るまでおとなしくして」いても、嵐は絶対におさまりません。なぜなら資本主義の危機、大恐慌が深まる

イラク反戦7周年全世界一斉デモ

国鉄1047名解雇撤回！

JRの検査・修繕業務全面外注化阻止！

沖縄・辺野古新基地建設絶対反対

3・20 ワーカーズ アクション in 渋谷

3月20日(土) 13時 代々木公園B地区 渋谷デモ

主催：実行委 連絡先：全国労組交流センター・勤労千葉



2月13日、氷雨のなか代々木公園で18550人の労働者が感動的な集会を実現しました。「国鉄1047名解雇撤回」「安全崩壊の業務外注化」反対を貫いて48時間ストライキを打ち抜いた勤労千葉の青年を先頭に、集会後は、新宿のJR東日本本社に怒りのデモを叩きつけた。

なかで、国と財界が「地域主権」という名の道州制・民営化で公務員労働者360万の首切り、教育の民営化を狙っているからです。このまま黙っていたら、ますます職場は締め付けられ、青年はこれから10年、20年、30年と働き続けることができません。当然にも各地で青年の怒りが吹き出し始めています。

教育労働者の誇りを守り抜いた 「日の丸・君が代」闘争

「日の丸・君が代」強制的攻撃は、日教組を解体し、なによりも教育労働者の誇りを奪い、団結をズタズタにしようとするものでした。

それは1980年代の半ば、日本における新自由主義攻撃の突破口となった国鉄の分割・民営化と軌を一にした攻撃でした。「戦後政治の総決算」を掲げて登場した中曽根政権は、戦後日本労働運動の中軸を担ってきた国鉄労働運動を解体することで総評・社会党を崩壊させ、憲法改悪をめざしました。同時に「教え子を再び戦場に送るな」というスローガンの下に50万人の教育労働者が団結し、反戦運動・平和教育をやってきた日教組を憎悪し、つぶそうとしたのです。

「国鉄労働者は働かない」という大キャンペーンで国鉄赤字の原因を全部労働者のせいにしたのと同じように、「教育荒廃」をさかんに騒ぎ立て、あたかもその原因が日教組であるかのように宣伝して、1985年の文部省指導徹底通知から本格的に「日の丸・君が代」攻撃を始めたのです。

国鉄では動労がいち早く裏切り資本の手先となり、当時最大の組合だった国労もズタズタにされ20万人の労働者が職場を追われました。日教組に対しては「日の丸・君が代」を認めるのか認めないのかと迫り、日教組幹部はこれ以上抵抗を続けたら国労の二の舞になるとして、屈服の道を進んだのです。学習指導要領で、「国旗・国家」指導が(ウラへ続く)

たたかう労働運動の新たな潮流をつくろう！

東京労組交流センター教育労働者部会

連絡先 米山良江(東京教組「君が代」処分被解雇者)

TEL 090(9838)-0343 E-Mail enpitu@adachi.ne.jp

東京都台東区元浅草 2-4-10-5F ■2010年2月22日発行

ピラへの感想・意見、職場の状況、怒りの声などメールでお寄せ下さい。

3・20 代々木公園に集まろう

教育の民営化 絶対反対

義務化された1989年、日教組は資本家に協力する連合に加盟し、1995年には文部省と労使一体となる「パートナー路線」を敷きました。当時日教組本部は「連合に入って連合を変えていく」などと言っていましたが、変わってしまったのは日教組本部の方でした。

組合幹部は「職務命令が出たら従え」「不起立は組合方針ではない」として、不起立の闘いに敵対してきました。

しかし現場では「日の丸・君が代は絶対に譲れない」と不屈の抵抗と闘いが続きました。都高教でも本部が連合路線に傾く中で営々と闘いはつづきました。そして10・23通達に対して、「職務命令には従え」という本部の屈服方針をうちやぶって、不起立闘争が爆発したのです。激しい日教組破壊、職場破壊の攻撃のなかで現場労働者の誇りと団結をギリギリのところまで守り抜いているのが「日の丸・君が代」闘争です。

国鉄闘争もストライキで闘い続ける動労千葉を先頭に、1047名の解雇撤回闘争が23年に渡って闘われ、分割・民営化の全矛盾が尼崎事故などの重大事故になって爆発する中で、ついに闘う動労千葉に青年労働者が次々加入してくるといふ決定的な逆転情勢に入っています。

今回の北教組への弾圧は日教組本部のさらなる転向を引き出すためです。不起立闘争こそ、転向し果てた日教組本部をうち倒して、労働組合を現場組合員の手に取りもどす闘いです。

組合幹部の敵対はねのけ 怒りを解き放とう！

広島では、不起立を闘ってきた青年労働者倉澤憲司さんが、昨年原爆記念日の8月6日に強行された10年研修を拒否して反戦集会に参加し、処分を受けました。これに対して広島と全国の仲間呼びかけて断固闘った結果、大きな怒りと抗議がわき上がり、極悪の広島県教委がついに「今年からは8月6日に研修は入れません」と言わざるをえなくなったのです。倉澤さんを先頭に全国で不起立を闘う青年が登場しています。

11月労働者集会に来日したロサンゼルス統一教組西部地域議長セシリーさんは、次のように語っています。「私たちがとつての選択は、なるがままに任せるか、自分たちが行動して変えるか、2つしかありません。それが私たちの闘いです。私たちは、働く人間のために立ち上がる必要があります。もし仮にそのことによつて自分自身の立場が少し危うくなるとしても、やる必要がある」といいます。写真は2月9日のロサンゼルス3000人集会で動労千葉と私たちのメッセージを読み上げるセシリーさん。



高井美穂政務官に向かつて

1月26日の日教組全国教研集会では、登壇した高井美穂政務官に対して「免許更新制はいますぐ廃止」のメッセージボードが掲げられ、民主党政権と日教組本部の欺瞞が暴かれました。(写真はそれを報道する新聞)本部は今回の教研に際し、なんと「質問禁止」「方針論議禁止」の通知を出して、組合の体裁も投げ捨てた言論弾圧と官僚統制に走りました。

追い詰められているのは 都教委。闘えば勝てる！

2月1日から2日、動労千葉は1人の青年の配転に対して、全員が48時間ストライキに突入して闘いました。その結果、スト破りを拒否した2人の労働者が動労千葉に加入するという感動的な事態が起きました。組合破壊を狙ったJR資本には、大打撃です。長い間JR資本と御用組合によって押しえつけられてきた青年たちが次々と動労千葉に加入し先頭で闘い始めているのです。

組合指導部が組合員の決起を心から信頼し、組合員全員で不起立をやろう、処分を組合全体の団結の力ではね返す方針をうちだし、不起立闘争の正義性、処分の不当性を地域、全国、全世界の労働者にアピールして闘う団結を拡大すれば、絶対に状況は一変します。ベテラン労働者がみずから先頭になって闘ったとき、人事評価と「自己責任」でがんじがらめにされ、死ぬまで働かされている青年労働者の怒りは解き放たれます。

いまや「日の丸・君が代」強制と処分は、都教委の「最大の武器」から「最大の弱点」になりつつあります。都教委はいくら処分しても「職務命令違反=不起立」が続いていることに追い詰められています。正義と道理は、反対する労働者の側にあるからです。6年間絶対に屈せずに闘い続けてきたことが、ついに大きな力を発揮するときがきました。ここを徹底的に突いて闘って、職場の力関係を変え、団結を取り戻しましょう。

3月20日全国の労働者とともに、「イラク・アフガン戦争終わらせよう」「国鉄1047名解雇撤回・JR検修業務の全面外注化阻止」「沖縄・辺野古新基地建設阻止」の大集会に集まって全労働者の団結した闘いを開始しよう。

ピラマキだけでまた逮捕

2月5日法政大学の市ヶ谷キャンパスで受験生にピラマキをまいていた学生6人が逮捕されました。大学は「営業権」振りかざして半径200mに近づくなという仮処分を出したりしています。あまりのデタラメに受験生からも怒りの声が上がります。アメリカ、韓国、ドイツ、ブラジルの労働者や学生も抗議行動に立ち上がっています。ともに教育の民営化と闘おう！

「地域主権」の名による公務員首切り粉砕